

《随想》

上海・天津…神戸

林田重五郎〈写真も〉



〈上海ガーデンブリッジから〉

「アアメの日も、カアゼの日も…
…」という流行歌が、さかんに歌わ
れていた時代だった。歌の文句の通
り、雨の日も、風の日も神戸の港を
まわって、新聞記事を集めていた。
三十年前——昭和九年から同十二年
の間。

神戸水上署を足場にして、船をま
わる。現在のように、出入国者の大
部分が航空機による時代とはちがっ
て、出るも、はいるも船だったか
ら、羽田空港のいまのはなやかさ
が、そのままあのころの神戸港だっ
たといえる。

船は夜明けに入港する。だからそ
の前の、午前五時にはメリケン波止
場から、船会社のランチに乗って、
和田岬へ出る。ここで検疫の終るの
を待ちかねて、船からつりおろされ
ているタラップに飛び移って、甲板
へかけのぼる。足をすべらせて、ド
ブと海中に落ちた記者の話も残っ
ているので、いつも底の薄いダンス
グツをはいていた。

和田岬から突堤の岸壁まで、本船
上での一時間足らずが、仕事の時間

である。目星しい船客を求めて、大きな船の中を右往左往する。

入船だけではない。出船にもニュースがある。

上海航路、大連航路（日満連絡船）天津航路、台湾航路（内台連絡船）など、入港の場合は長崎か

門司を経由してくるので、ニュース価値は少ないが、出港は神戸が起点だから、ニュースは多い。当時の記事の切れ目をちょっとのぞいただけでも、映画スターのダグラス・フェアバンクス（二世ではなく一世の方）と握手をして出港の記事を書いている。藤田嗣治氏が満州へ渡っている。諏訪根自子さんが欧州へゆく。（可愛い少女姿だ）。マルセーユで曙ホテルを経営していた日本人が、落ちぶれて送還されて来る。由良要塞、そうとは知らずカメラでうつしたフランス人が調べられている。日本人の夫から琵琶を学んだロシア婦人が破鏡の涙で大連へ帰る。豪華船秩父丸の百貨店の出店を担当した、デパートの女店員が太平洋に投身自殺をする。貨客船笠置丸で上海へ逃げようとした黒色テロ団員の一人が捕まっている。……といった次第。

こうして何年も船と客を迎えしていると、自分でも海の彼方を見たくてたまらなくなる。夏休みに会社から百五十円を借りて、いつもは他人の出発の記事をかく神戸港から船出したのは、昭和十年だった。ただし行く先は欧州でも米国でもなく、となりの中国、しかも大連航路の三等であったが出帆のときだけは一等の甲板に上がり、海岸記者の友人諸君にテープを投げてもらった。

大連港の突堤の立派なのに感心を



＜上海ガーデンブリッジ・いま外白渡橋＞



＜塘沽新港・向って左から二隻目日本船＞

し、奉天から北京、津浦鉄路で南京へ出て、上海ではダンスホールで上海ブルースの踊り方をおぼえて、帰りはまた三等で文なしの旅を終えた。

二年たった昭和十二年夏、こんどは御用船で神戸を出帆する運命になった。姫路の第十師団に従

軍したのである。船は天津航路のコースをゆき、上陸したのは塘沽、神戸港と比べると、「草深い港だなあ」と感じた。それからの戦中、何度か大連、上海、台湾を往復する。

× × ×

昨年、中国へ二十五年ぶりに、二度出張した。上海へ二度、天津市の区域になっている塘沽へ一度行けた。

あまりの変わり方に、浦島太郎の気持はこんなものだろうか、あちこちで思った。上海の黄浦江に沿った昔のバンド附近は、風景こそあまりかわってはいないが、魔都の感じは全くなく、清潔で「健全娯楽」一本である。

——ある宵、昔を思い出す経験はただ一度だけ南京路にある外人用商店を出て三輪車に乗った。

バンドの和平飯店について、車代を払うと一角（十五円）ほどのツリである。ツリは要らぬというと、やや老人であったが、「シーサン・ホレン」といった。いまの中国ではチップ拒否方式で、ツリ銭を受取ったのは、このときだけであったが戦中に一部の日本人が華中ではやませたこのホレンという言葉聞こうとは！

「言葉の化石」に出合ったような気持がした。

塘沽は驚くほどかわっていた。海

河の河口に名前も塘沽新港という大きな人工港が生まれていた

港の管理局の係員が詳しく案内してくれたが、「河北の塩や農産物を略奪するため日本軍が一九三九年に着工、第一埠頭と五千トンの船が通る水

門と八キロの防波堤を作った。四十五年に一応完成し、五千トンの船が三隻着岸できる港にまでなった。のち内戦で荒れたのを修復拡張し、第二埠頭を作りあげ、いまは第三埠頭も半ば完成、一万トン級計十一、二隻が横づけ可能だそうだ。

ちょうど日本船も二隻バースに停泊していた。

港の横に有名な海河の防潮閘がある。これで天津市内も真水がながれるようになった。

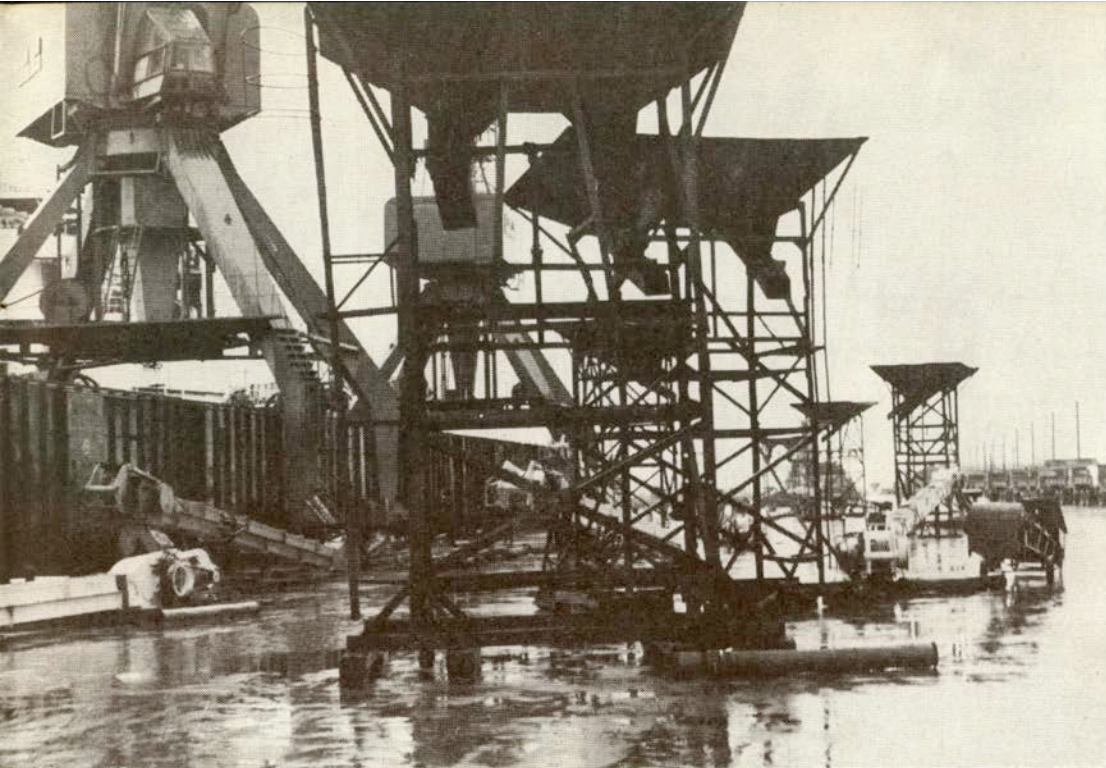
さていま、直接船で上海や塘沽新港へゆけるのは、特別の友好団体かペンギンなどに限られている。一般の旅行者は、はるばる香港まわりでないと上海へも塘沽へもゆけない。

何日もかかって到着した上海や天津から神戸を顧みると、はるけくも来たものかなの感じがする。三十年前に、つい隣へゆく気持だったのに比べると、月日は逆行したようである。

ある中国人が「ジェット機なら、上海から長崎まで四十分の近さなんだが。」と言った。遠い中国の港が、近くなる日はいつであろうか。

△朝日新聞記者▽

＜塘沽新港＞



□随想□

神戸慕情

丸尾長顕

え・津高和一

三十年ぶりに神戸の街を見た。

ニュー・ポート・ホテルのぐるぐる回るラウンジで、私は新しい恋人と夕食をとっている。神戸っ子の美しいファッション・モデルである。

「今井朝路君どうしてる？」

「あら、ブルー・アンクルってバアをやっていた絵描きさんでしょう。亡くなったわ、とくに――」

「松村小琴さんも亡くなったね」

「ええ、新聞で見たわ」

と、美しい女が淋しそうに港の灯をみた。推理作家のホープだった酒井嘉七君も、のんべえでいつも酔払ってた新聞記者の浦島太郎君も、ローザ・ハウスのマダム・キミも、面白い友人はみんな亡くなってしまったようだ。

そう云えば、学生時代に涙の出るほど好きだった



た港町の情緒は、新生の神戸には果敢くも消え去った幻のように思われて仕方がない。

「へえ、三角張場？知りまへんな」

と、ホテルのフロントで云われた。

生田神社から中山手に出る左の小さい一隅に三角張場の名があった。人力車がここで客待ちをしていた名残りの名だったと思うけれど、人力車など影もない神戸では忘れ去られるのも無理ではない。

△外人墓地▽と云っただけで、なんとなく異国情緒を感じたものだが、その外人墓地が跡形もなく消えてしまったのは悲しい。

蛇の卵を胸に抱いて、外人墓地に葬られたお銀という女を、私は「変な女」という小説に書いたことがあるが、もうお銀の美しい肉体が、土に還った後を偲ぶ方法もなくなったというものである。

お銀は私の若い日の憧れの女だったが、私のような青臭い若造などてんで相手にせず、私はキッス一つしてもらえずに、ただ遠くから露がこぼれ落ちそうなほど円らな潤んだ眼の、この世の女とも思えぬ美しさに、うっとりとし惚れていたものである。それはお銀が酒と恋とに身を持ち崩して狂死する半年ばかり前のことである。

「お前の唇は吸ってやりたいほど可愛いけど、まだ恋のほんとうの味を知らない唇だよ、もっと修業してからおいで」

と云われたことを覚えている。それは小説には書かなかった。

お銀はがめつくて、我ままで、コスモポリタンで、デカダンスで、涙など一かけらもない癖に、どことなく抜けていて、他愛がなく、それが不思議な、エキゾティックな魅力になっていた。

たしかに神戸女の一つの典型である。港の風が吹くせいだと思っている。

いま私とニュー・ポート・ホテルのラウンジで、夕食を共にしている神戸生れの美しいモデルも、どうやらお銀と同じタイプである。恋の修業を積み重ねて、やっと相手になれる女である、お銀を、彼女に思い描いたのである。

ただ、蛇の卵を抱いて、来世は蛇に生れ変わるのだ——などと、ロマンティックな夢をもたないところが、現代的なのだろう。

生田筋に「ハイ・ウェイ」というレストランがあった。これは谷崎潤一郎先生の命名である。そしてその店のマッチのデザインを小出櫓重が描いている。まことに豪華な話だが、実は大阪の最後のほんぼん根津清太郎君が、自分でうまい洋食を食べたいために開いた店である。その後、根津君は

落魄したが、その最期を、私が見とったのも奇妙な縁である。

その「ハイ・ウェイ」の隣りに「ラール・エバンタイ美術扇・雑貨店」という洒落れた店があった。高価で手も出せなかったが、戦後のきのきと現われた舶来高級雑貨店のハシリである。それを経営していたのが、お富さんである。

お富さんは映画評論家の淀川長治君の実姉である。南蛮美術のコレクターとして知られていた池長孟氏など神戸のハイ・ソサエティと親交があり、遊び仲間だった。美人ではないが、小づくりで、愛嬌があって、港的人情の機微のわかる小母さまである。やっぱり別の神戸女の典型である。ひどく現実派だということはお銀と共通である。

「お富さん、この頃どう？」

「いや、すっかりお婆さんになりました」

最近、淀川君に銀座で会った時の話である。お富さんがお婆さんになったとは、当然の年配なのだが、なんとなく信じ難いのである。

奇人と云えば中山手に生れた本多季磨氏をすぐ思い出す。いまは今東光氏のところに身を寄せているが、印度哲学の大家で、風采を構わず、たいへんな毒舌家で、生れて以来、いまだに一円の金を稼いだことがないという傑物である。よく生きていられるものだと思心するのだが、神戸でなければ生れて来ない奇人である。

神戸はすっかり生れ変わり、港の汽笛さえメランコリックな響きでなくなったが、やっぱり私は神戸が好きであり、神戸人を愛し、がめつい神戸女に惚れるようである。

□随想□

神戸の匂い

津村秀夫

え 津高和一

人間の生涯で少年時代の嗅覚の体験は忘れがたいものだ。むろん視覚の方が強烈に残ると言う人もあるが、それはそうにちがいないにしても、しかし目に残る記憶はあまりに広く大きい世界である。それにくらべると匂いの方は、極めて限られた世界だけに、印象も強烈であろう。

美しい匂い、魅力のある匂いは生涯忘れがたい。話は古い。

私は神戸で生れ、神戸で中学時代を終了したが、むかしの神戸一中の校舎のあった布引の滝の下流、すなわち賀川豊彦の若い時代を送った有名な貧民窟のあった旧校舎の界わいは有名な臭い地

方であった。

貧民街と神戸一中とは川ひとつへだてていたが、それでも校庭には臭気がただよって来た。

人間の記憶はうまくできていて、不快な光景、不快な匂いは自然にうすれて行くが、魅力のある匂いは生涯忘れがたい。

私の臭覚の歴史から言う、食べ物にまつわる匂いはやはり強烈である。

大正六年前後と思うが、六甲苦楽園（今でもあると思う）が開設され、多くの貸し別荘や日本料理屋も山の上に築かれた時、小さなホテルもできた。



わ

ホテルとは名ばかりで(宿泊設備は五人ぐらい)専ら小食堂が中心であったが、展望がよかった。

私の亡父の教えていた神戸高商の卒業生で、中村喜一郎と言う若旦那がいて、この六甲苦楽園の開発者の長男であったが、その関係で、私たち家族はよく父につれられて、この小ホテルの食堂に行った。

玄関を入る時からブンと洋食の匂いが鼻をついたが、(その頃は西洋料理と言わなかった)その匂いが私を魅惑した。食い気盛りの少年だが、普通の西洋料理店の匂いとは違い、種々雑多のソース類、香辛料の匂いが、その小ホテルの壁にはしみついているようにも感じられ、陶然とした。

私は母の感化もあって、西洋のハイカラな食品類はすべて好きだったが、幼年時代から元町の明治屋へ行くと、そのチーズ類や乾しアンズやプラムの匂いにとらえられた、大好きな舶来品のチョコレート類の匂いも強烈に鼻をついた。

この明治屋の店内に入るとたちまちブンと匂った西欧文明の匂いは、六甲苦楽園の小ホテルの食堂では更に濃密となり、眩惑するような勢いで少年の嗅覚を襲った。

そのホテルの壁はピンク色であった。

山腹の崖に作られたので、玄関と食堂は一階で下の客室はまるで地下室のようにさえ思われた。うす暗い小さな部屋が四つ位あった。

従って、今思うと、全体が小料理店のような規模だったが、料理はやはり洒落れたもので、元町界隈ではあまり食えないものだった。

中学時代になると、一度か二度、元町のオリエンタル・ホテルの食堂にも行ったが、料理は格段

でも、もはや六甲苦楽園ホテルの昔の思い出には及ばなかった。

元町の匂いといえば、明治屋を最上として、次ぎは西村のパン屋の匂いも忘れることができない。

第一次欧州大戦(大正三年)の頃から大正十年頃までは、このイギリスパンと洋菓子とは天下一品だったが、シュークリームはことに美味であった。

母は村井弦斎著の「食道楽」の愛読者で、大正初年から洋食が自慢だったし、明治末年にドイツ留学から帰った父も毎朝チーズを食っていた。

そう言う家風で、私は少年時代から西洋の食品類の匂いには特に愛着をおぼえていたが、母が神戸山の手のドイツ人の家の女コックから料理をおぼえるようになると、私は一度そのドイツ人の屋敷へ行ったこともある。

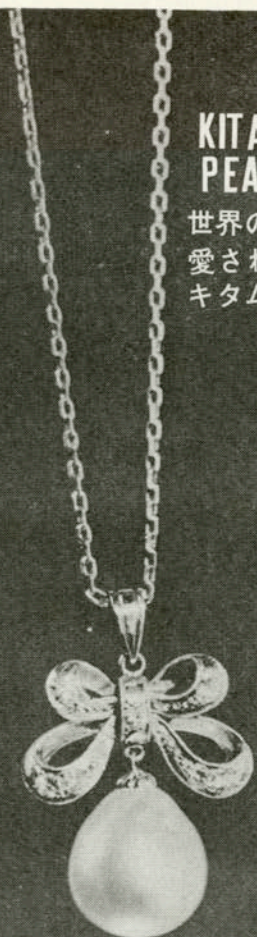
ドイツ人は友人と庭で射撃の練習をしていた。日本人の女コックが教えてくれる西洋料理を、母は少しづつアルミの弁当箱に入れて、サンプルとして持ち帰ったが、幼い私たち姉弟はそれを賞味して喜んだ。

その匂いも、まるで洋食屋の匂いとは違うものであった。

六甲苦楽園の貸し別荘に滞在する西洋人の少女と親しくなったこともあるが、その四、五歳の青い目をした子供を私は可愛がった。私は少年時代から子供、とくに西洋の子供が好きで、全く目があったが、その少女の体臭にも魅力をおぼえた。

明治屋の匂いや苦楽園ホテルの食堂の匂いが、その青い目の少女の体臭と結びついて、いまだに記憶に残っている。

△映画評論家V



KITAMURA
PEARLS

世界の人々に
愛される
キタムラパール

北村真珠株式会社

神戸：元町店 TEL 33 0072
オリエンタルホテル店 338111EXT. 331
東京：スキヤ橋店 TEL (571) 8032

北欧の銘菓

ユーハイム
コンフェクト



バウムクーヘン
〈ピラミッドケーキ〉
クッキー
ムンデット
シモン
デビルドチーズビスケット
各種高級洋菓子



本社・工場／神戸熊内町1丁目 TEL 22-1164・9865
熊内店／(市立美術館東隣)
三宮店／神戸三宮生田筋(階上喫茶室) TEL 33-7343・0156・4314
神戸デパート店／長田区大橋5丁目 TEL 61-2101
甲子園店／国鉄甲子園口駅(北口)・芦屋店／国鉄芦屋駅前通・堂島
営業所／大阪堂島中町ビル地階・梅田店／大阪梅田地下センター・
栄町店／名古屋栄町ビル地階・千種工場／名古屋千種区若水町・大
丸店／神戸・京都・阪急店／神戸・大阪・三越店／神戸・丸栄店／
名古屋・オリエンタル中村／名古屋・大阪国際空港・神戸鉄道弘済
会・丸物店／岐阜

6気筒 **OHC 2000 c.c.**

クラウン デラックス



クラウンが半分づつ

ではありません

次から次へと走りさる車の一コマを
とらえました。

ヤッパリ前も後も**クラウン**です

クラウンデラックス…¥1,014,000
(気筒2000cc.)

兵庫トヨタ自動車株式会社

本社	神戸市長田交叉点	56-5051
尼崎営業所	阪神国道玉江橋東	481-9501
西宮営業所	阪神国道北今津東	2-6905
東神戸営業所	阪神国道大石川東	86-5471
神戸営業所	国鉄兵庫駅南50米	68-6781
姫路営業所	神姫国道市川橋東	23-2781
豊岡販売所	豊岡市高雄通102	4171



LONGINES

ロンジンをおもてめのときには
神戸でもっとも豊富にロンジンの
そろったさんちがファンシータウン
美田時計店へおこし下さい



特約店

美田時計店

元町店・元町三丁目 TEL 33-1798

三宮店・三宮地下街 TEL 33-8798

★神戸っ子対談★



△砂野社長

万国博には空港をどうするか

砂野 仁 △川崎重工業KK社長
岡崎 真雄 △同和火災海上保険KK取締役

この雑誌ではとくに神戸の経済関係の人びとに神戸っ子の先輩というところでいろいろお話いただいています。

今回は川崎重工業KK社長砂野仁氏と同和火災海上取締役・岡崎真雄の両氏にお願いたしました。

神戸市の発展と鍵をにぎる

岡崎 砂野社長は神戸に住まわれて何年くらいになられ

るのですか。

砂野 この川崎に入社以来ですから、神戸に住んで四十年になるからね。現在六十六才でいまが一番元気だな。だからもう神戸っ子だよ（笑）

岡崎 神戸の戦前から戦後にかけてよくご存知だと思いますが、戦前と戦後の神戸を比較して神戸が変ってきたというような印象はございませんか。

砂野 そうだなー昔の神戸は街全体がなんとなくエキゾチックな感じがあった。いまは、ほかの都市に比較すれば多少そんな感じはするが特にかわった街だということにはならないでしょうね。昔の面影をとどめたところが少なくなつて淋しいですよ。上筒井のあたりは、阪急の終点だったし、関西学院や神戸高商があつて、学生街の雰囲気もあつてのびやかな情景で非常に懐しい。最近の神戸はビジネス街の建物が急速に近代化されたのが目立つようになつた。きれいになってきたよ。

岡崎 よく、神戸の経済界の地盤沈下とか、沈滞しているといわれ、神戸の発展をどう考えるかということがよくいわれますが、私の意見としては、神戸の立場をよく考えた方がいいと思うのです。これは神戸だけの問題ではないと思うのです。近畿のなかでの神戸の役割を考える。また、瀬戸内経済圏の門戸としての神戸の存在をはっきりと打ち出して、近畿、瀬戸内全体に貢献していきたい、しかも神戸もそれによって発展してゆくのが望ましいと考えるのです。

砂野 まったく同感ですな。神戸には海あり山ありといけれど、この土地に大企業を誘致しようといったところで場所がない。地相がよくないナ、人口をこれ以上集めようにもどうしようもない。東京、名古屋の財界人がしつかりしているからそうなんだではないんだ。そのヒンター・ランドからどんな人が集って来るからなんだ。経済の発展というものは人が集まることが先決問題なんだ。そういう意味からいっても神戸は立地条件はよくない。私がこのことを原口市長に話したら叱られましたよ。原口市長はね、「世界一の良港であることを忘れるな、台風もこないし、地層はいいし、神戸港はまだまだ伸びる」といってね。たしかに原口市長の構想の中にある、ポート・アイランド計画や明石架橋の実現が神戸の繁栄の鍵を握っていると考えていいだろうな。明石架橋が成功すれば、いろいろな意味で経済発展と結びつく、例えば私の専門の労働問題にしても西日本、とくに四国

の豊富な労働力の流動が期待できる。これは経済発展の大きな力になるだろう。結局、近畿圏全体に大きな影響を与えることになる。これが、さきほど岡崎さんのいわれた神戸の繁栄につながると思う。

急ぐ海上空港の設置

岡崎 ところで、四年後大阪で日本万国博が開催されることになりましたが、なんといっても神戸は日本の玄関口の一つですからその役割を果さなければならぬと思います。例えば世界各出品国の施設建設の資材とか、また展示のための品物。当然観光客も神戸に集まることになるのですが、神戸としては万国博にどんな協力が出来るのでしょうか。お考えを聞かせていただければ……。

砂野 万国博については、最初は神戸も会場設置の名乗りをあげていたのだけれども、結局大阪千里山丘陵に会場が決定し、大阪と一体になってやろうということになった。だから大阪を中心として関西で開かれるということだから、京阪神が一体となって成功に導くように努力すべきだ。

先日でも経済同友会の席上で問題になったのは、万国博は、何千万人の入場者を予定し、考えているのかわからないが、伊丹の国際空港では狭くてどうにもならない。どうしても空港を整備しなければならぬという意見が出た訳だ。――あの伊丹空港は拡張は不可能なんだそうだ――それではどうするかという話になって、それでは海の上に飛行場を作ったかどうかということになった。それで現在、その試案の作成にかかっているのだが、航空母艦のようなものを考えている。つまり十字架の大きなようなものを浮かしたような格好になる。これをアンカーでつないで安定させるというのだよ。中の部分は倉庫にでもなるだろうから利用価値もある。陸地で新空港を作るということになれば、設置するだけで三千億はかかる。海上を利用すれば約半分で行えるだろうといっている。もっとも、海の浅いところであれば杭を立てて空港

をつくることを考えればもっと安くあがるのではないかという意見もあった。陸上で空港を作るとすれば到底、

時間的に設置が無理だと思われる訳だから、海上設置が有力になるだろうね。いずれにしても万国博というものが近畿に及ぼす経済効果は大きいだろうし経済の発展の一つのエポックになることは疑う余地はない。われわれはあくまで協力をおしんではならない。

岡崎 神戸っ子にとって残念でもあり淋しく思うのは、こんどの万国博で副会長に、大阪なり名古屋の財界人が出ているにもかかわらず、神戸は出ていないことですね。どうしてそうなったか知りませんが、神戸から副会長を送りこむ必要があるように思うのです。その方が協力しやすいばかりでなく、意志の疎通もよくなると思うのですが。

砂野 これは岡崎さんがいわれるとおりですナ。神戸の場合だと浅田商工会議所会頭にでも出馬してもらっていないなあ。これは一度、私からも打診して見たい。会頭の健康さえよければ出馬してもらえばいい。まだ時間もあることだから検討しなければいけませんな。

〈岡崎真雄氏〉

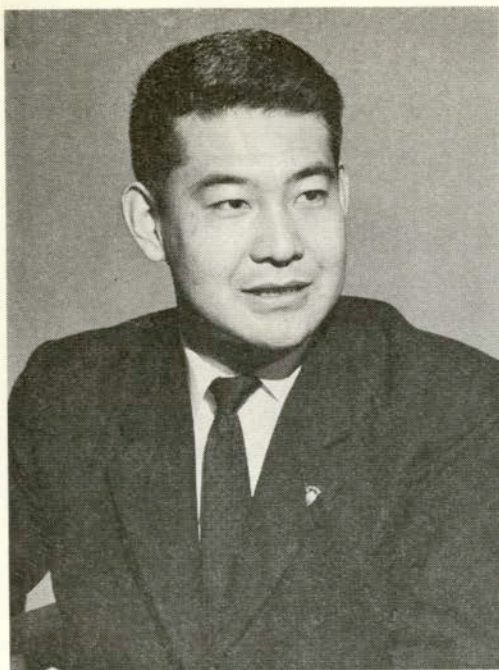
経営の問題を考える

岡崎 これは、経営の問題になりますが私の現在の仕事は外人との接渉が多いのですが、彼等はきまつて「日本ではビジネスが非常に手間どる——決定するまでに上司と相談して」ということになる。確かに外国ではその点非常に決断が早いですね。

砂野 それは、権限委譲と責任所在がハッキリ行なわれていないときに問題が起る訳だ。私の社では昭和36年11月に事業部制をしいて、事業各部門毎に事業部長に全責任を与えた、これは権限と責任の問題が明晰になっている。だが欠点はセクショナリズムに陥りやすいことだ。元来日本の産業が戦後、急激に発展するにあたって、ホワイト・カラーとブルー・カラーの中間層が大きく貢献した。従つてこの中間層に適當に権限を委譲してやるようにしなければうまくいかないことになる。

岡崎 だから、部長から課長にそして社員に権限の委譲と責任の所在をハッキリさせることが重要ですね。——それに最近疑問に思っていることは会議の問題ですが、少し会議が多過ぎたり長過ぎたりするようですが。

砂野 会議については、私の会社では毎朝午前九時より一時間ほどを会議の時間にあてている。これも過去十年間実施してきて今年3月から制度化する予定なんだ。なんといっても社長は、その会社でなにが起っているか確實把握するべきであり、知っている義務がある。書類だけの決済だとタイミングを失することになる、会議の時間は短い方がよい。私がかつて神戸銀行の岡崎頭取に会いにいったとき、「会議中」だった。岡崎頭取は毎日三十分の会議を行なっていると聞いた。よいことだと思つたので早速私の社でもとりいれて、四年間実施して来た。そしてこれが非常に役立った、その上で制度化にふみ切つた訳だ。それに大切なことは先輩の業績を



よく知ることだ。先輩がどんな主張をして成功し、いかなることで低迷したか、これが考え実行する基盤になる。

だから「楽山教室」を開く

岡崎 先日、神戸青年会議所のメンバーが中心になり砂野教室がひらかれましたが、この教室についてお話を伺いたいのですが……。

砂野 私は砂野教室というような個人の名前は面白くないから楽山教室ということにしてみました。私の父が、私につけた号なんだ。仁は山を楽しみ、聖人は水を楽しむというのでつけたものなんだネ。楽山教室の第一講では、もちろん、私の持論である健康に投資せよと（真向法）の実習をやった（爆笑）当然すぐやれる訳ではないが、とにかく人間は健康でなければならぬ。私が何故このようなことを引受けたかというと、私たちにも大変きびしい先輩がいたんだ。小田切という人で私にしても川崎製鉄の西山君にしても非常に尊敬している先輩なんだ。この先輩によく鍛えられましたよ。よく山に登ったものでね。競争で登るんだ、これを思い出してね。人間は健康でなければならぬ、もちろん経営者は強くて公正でなければならぬ。それには精神的にも肉体的にも健康であることだ。

私の人生哲学

砂野 日本が戦後20年間、とくにこの10年間に世界最高といわれるような経済成長を遂げたが、その背景に日本の優秀な労働力があつたことを忘れてはならない。だから私は労働力は尊重せよといっている。なんといっても日本を支える柱だと思ふ。この点については私から岡崎さんの年代の人がどう考えているか聞きたい。

岡崎 答えは難かしいですね。現在の若い人達が自分の属する企業の中で精一杯働きますが、どういふものか反

対給付、見返りを考える。極端なものになると会社のことはどうなるうとも貰うものだけは貰う気配が強い、これはどうしたものでしょう。

砂野 やはり、青年会議所のメンバーに望むことは、労働力というものが企業の生命を握っていることを知ってもらいたい。認識を新たにしなければならぬ。といつても労働者を甘やかせというのではない。一対一の関係で指導してゆくことが必要だと思う。若い人達のそういう考えはあまり心配しなくてもいい。私も京都大学では河上肇教授に傾倒していたほどだが、自然に環境によって考え方も変わるものだ。心配はいらんのだナ。私は最近、こんな言葉を味わい深いものだと思っている。「偏りて聞けば、即ち暗し、君の明らかなる所以は、あわせ聞くなり、その暗き所以は偏りて信ずるなり」一つのことを両面から見ないと、一方からだけ見てかたくなに信じこむのでは間違える。両面からよく見て考えなければいかんぞ、と教えている。

またこれも感銘深く思っているのは、耶律楚材という人の言葉に「世変を閱歴するに、人を得るを除いては、一事の頼むことなきを、世のいよいよ乱るる所以は黒白の混淆である、為に君子いよいよ譲り、小人いよいよ盲なり」これは世の変り移りをよく眺めていると、立派な人物を得ることより外には一事も信頼することはないと悟った。世の中の乱れるもとは事の善悪がはっきりしないで見分けがつかなくなった時だ。そんな時には、良識のある人は事を人に譲って出なくなり、つまりぬ人間が時を得て出てくるというのだ——ちょうどいまの時世がそうだよ（笑）

岡崎 どうも長い間いいお話を有難うございました。

経済ポケット

ジャーナル

南米に「企業移住」を図る
日本共同マッチ

企業ぐるみ南米へ移住し
ようと、日本共同マッチ会

社(生田区北長狭通り)が近く現地へ調査員を派遣する
企業移住の話が出たのは
金井知事が一昨年五月に南
米を訪問、ブラジル兵庫県
人会の山本勝造会長らと会
って話を聞いたのがきつ々
け。これまでは農業移住な
ど「人」が中心だったが、
今後は「企業移住」である

とのヒントを得たもので、
その後、各業界の意向を打
診したところ、三木の金物
業界、自転車修理業界な
どに混って、マッチ業者が
共同出資で設立している同
社が一番乗りを名乗り出た
場所はアマゾン河口のベ
レン市で、マッチの軸木に
適した原木も数種類あるこ
とがわかつている。調査員
は現地の原料、労働事情は
じめ既存業者との調整など



を調べてくる。

物価安定対策に、主婦も

「上手な消費を」

神戸市経済局は物価安定
対策の一環として、このほ
ど生鮮食料品の小売標準価
格を市内の各小売り市場に
表示。まだ始まってから日
も浅いため、利用にとまど
っている主婦も多いが、合
理的な買い物をする尺度に
なるといふ意見もあり、案
外評判はいいようだ。

このシステムは中央市場
の卸値を小売市場連合会へ
連絡、その日の標準値を百
多単位で算定して各小売り
市場へ流すもので、どんな
品目が高いか安い一目で
わかる仕組。これを見て主
婦達はその日の献立を考え
て欲しいと呼びかけるもの
物価安定対策が強く叫ば
れているおりから市当局も
いろいろな対策をとってき
たが、経済局の中井主幹は
「物価対策は出荷対策、流

通対策のほか「上手な消費
」も必要だ。市民の皆さん
も、合理的な買い物をして、
「上手な消費」を心がけて
いただきたい。このシステ
ムがそのために少しでも役
立ってもらえるなら」と
語っている。

苦しい中小企業の

金融対策に福音

神戸市の四十年代予算案
が発表されたが、経済局の
新年度重点施策は中小企業
対策。中でも金融対策が必
要と苦しい財源の中からや
り繰りして融資制度を拡充
した。まず運転資金の融資
枠を約三千五百万円ふやし
て三億七千七百万円にし、
これまで一件当たり七十万
円だった融資額を百万円に
引き上げ。

また、高度化融資は機械
割賦販売融資を廃止したこ
ともあるが、一億二千万円

から一気に二億三千二百万
円に引き上げた。

これと合わせて信用保証
協会が中小企業に融資しや
すくするため、協会への出
損金五百万円から六百万円
にするなど積極的な態度。

銅不足に相つぐ盗難

犯罪は世相の反映という
が、銅の価格が高騰した影
響で兵庫県下では最近にな
って銅、真ちゅう泥が横行
している。

世界的な銅不足のおりか
ら銅価はうなぎ昇りで、最
近ではトン当たり八十万円
と昨年夏からすでに二倍の
値上がり。兵庫県警の調べ
では昨年十月末から二月十
日まで百六十一件被害総
額は三千万円に上っており
特に神戸、尼崎、姫路など
に多い。被害を受けた工場、
倉庫の大半が無旋錠という
ことだが、鍵をかけていて
も夜警が手薄なところ。

神戸オフィスレディ



小川 淳子さん (20才)

ネットス日本KK勤務

長田高校を卒業して入社3年目、会社では
受付を担当しており、この仕事が一番自分の
性に合うのとおっしゃる小川さんはエキゾツ
クな神戸っ子。趣味はジャズでスタンゲッ
ツの大ファン。普段おちつかないときなどは
音楽を聞くとごきげんになるそうだ。近いう
ちにヨーロッパに行きたいと張り切っ
ている。

和菓子の長に洋菓子の粋を取り
ました薄い洋風煎餅で御
座居ます、チョコレ
ト・バナラ・スト
ロベリーの色
とり
の三

色ク
リームが、
サンドされて
居ります、軽い御
口当りとバナラの香も
高い御風味は味覚の新鮮さ
を御満喫願えと存じます。



神戸にそだって70年

 風月堂

元町3丁目 TEL 392412~5
さんちかスイーツタウン TEL 393455

呉井保藏

みよーや



電話神戸 33三八八~九番
大阪店 阪神百貨店三階
電話 大阪 55四八番
姫路店 やまとやしき百貨店三階
電話 姫路 23 一一二二番
衣裳部 三宮町三丁目柳筋
電話 33 五一六五番

夜間中学

宇井寿樹



西野分校の校庭……といっても借り物。光りがわびしい。

ストーブの火は赤かった。電燈の光りも明るい。それでいて、なにかうすら寒いものが、この教室にあった。疲労のせいかな、先生の書く手に力がないのか、黒板へ向ける生徒の目は、まぶしさの中へさぐりを入れるふうに、もの憂い。

神戸市立丸山中学西野分校（細見美雄校長）―兵庫県で、ただ一つの夜間中学である。だが、長田区内で「夜間中学はどこ？」とたずねても知る人は少ない。「西野幼稚園」をさがし、正門わきのくぐり戸から、燈火をたよりに園舎の二階へ―。

時たま、オルガンの音が聞こえる。それが、ただたどしい一本指の演奏であらうと、同じひとふしを繰り返すだけであらうと、ひいている子は全く無心。昼間はおとなに混って働き、家庭では物心両面で小さな頭を悩ます子が多い。いったい彼らの生活の中で「無心」になれる時間が、ほかにあるだろうか。

まだ小学生のおもかげを残した女生徒が、廊下を歩きながら「愛染かつら」のメロディをハミング。もちろん「花も嵐も踏みこえて」といった悲壮感も哀調も関係はない。気ままにさえ歌えれば、歌詞の意味などどうでもいいのだ。

生徒の在籍数三十二人（二月末現在）。さまざまな生

徒がいる。ゴム工場の工員、運送店員、飲食店員……。大半が「働かんとあかんさかい働く、学校へ行かんとかかんさかい晩に行く、それだけのことや」という。問題は、法律で保護されているはずの子どもたちが、労働と勉学という二重の負担を「それだけのこと」で片づけようとするかどうか。

しょうがない、というあきらめもある。かまいたてするな、という拒絶もある。人に話してわかってもらえるようなしんどさじゃない、という含みが「それだけのことや」につづめられている。

授業前の彼らは、ときにいきいきと、時には、ひどく所在なげに見える。週の中ごろに欠席が目立つことから、労働の疲れは否定できない。

「みんな歌が好きです。明るいですね、ちっともくつたがな」

分校主任の片岡先生はいう。しかし、くつたがなというのは「こんばんわ」で始まり「おやすみ」で終る教室の中だけかも知れない。友だちと歌い、仕事のこと、家のことを忘れようとするひとときだけかも……。先生も十分承知の上なのだ。

×

×

出席率は五割そこそこ。日によって違う。

のぞき見た教室から「うすら寒いもの」を感じたのは空席が目につくせいだろうか。そうではない。肩を寄せ合って歌をうたったり、編み物をしながらおしゃべりしている時は濃密な空気が、授業になるとスキ間だらけになる。小学校のときから取り残され、学科に興味を失なっていた生徒は食いつかない。しぜん、単調になりやすい。

「やりにくいですねえ、基礎ができていないし、家庭学習ができない。私は数学の担任ですが、遅れている子に「プログラム学習」を取り入れています。教材から基礎的なものをビクアップして、個別指導にも便利なように考えたのですが……」

片岡先生は語尾をにごす。一年から三年までひっくり

めて男子組、女子組の二クラス。その上、学力差がひどい。どこを目安に置いて話しても、はずれる子が残る。個別指導が有効なことはわかっていても、一人何役もの先生たちには手がまわらない。とすれば、グループ学習が考えられるが、それも、受け入れる素地があるかどうか。

昼間の中学は一時限が五十分授業。ここは三十五分。一週間の時間数も昼間三十三時限に比べて、二十三時限と少ない。かなりピッチを上げないと、その差は埋まらないが、同じものを要求するのは酷だろう。

そのため西野分校では、技術教育に重点を置き、週のうち珠算に二時間、技術・家庭に四時間をあてている。女子は洋裁、編み物、刺しゅうなど。男子は木工、電気などで、「保護者も「すぐ役立つ勉強」を望んでいるし、生徒もわかん学科より喜んでいます」

と、ある先生は、あきらめに通じる口ぶり。しかし本当に社会で役立つのは八考える力であることを知らないはずはない。

前任の川端訓校長のころから本校との交流が計られ、修学旅行、体育祭、卒業式をいっしょにするようになった。その最初の修学旅行前夜、こまごまと指示をしたときのこと、集合場所の神戸駅を知らない子、デパートのエスカレーターに乗ってみたいという子……に先生たちはガク然とした。閉鎖的な生活から生まれた貧しい体験、それをおぎなう常識を、一刻も早く身につけさせねば……。生活でも教科でも、ここに指導の柱があるはずだが、実際にはむづかしい。明確な方針は、いまだに手さぐり状態だ。

×

×

夜間中学は、昭和二十四年、不況のどん底から生まれた。新制中学が発足したものの、子どもの働きをあてにしていた恵まれない家庭は困った。義務教育年限が延びただけはとても待てない。いきおい長欠・不就学の児童がふえた。西野分校も、その対策の一環として二十五年



「太陽のない教室」——しかし、教室での子どもたちはくったくのない明るさだ。

に設置された。神戸市はいち早く「訪問教師」を各区に置いて長欠児を学校に戻す努力をした。おかげで長欠児は急激に減り、ピーク時の三十年には市内に八校（県下では尼崎五、姫路三、西宮、伊丹、洲本各一をあわせて十九校）あった夜間中学が、今では西野分校だけを残して消えた。

「長欠者が減ったからといって、手放しで楽観できません。現にどうにもならない子が市内で三百人もいるし潜在長欠といえる病気を理由に休む子は、教師や学校の力では及ばない条件がありますからね」

長田の小学校のA先生がいった。Aさんの教え子でB（一四）というのがいる。中学へ通っているはずのBが市内の電気商に住みこみで働いている、と同級生から聞いたAさんは、中学校で長欠の模様をたしかめ、その足でBの自宅を訪ねた。だが母親はそっけないだけで要領を得ないため電気商へ行った。児童福祉法、労基法で罰せられるゾ、とおどかしてでもBを西野分校へやるつもりだったという。

「だけど、いいたいのを飲みこんで帰りました。住みこみ三食つきで五千円。その大部分をBは母親に運んで

るんです。店のオヤジさんは理解がない上、面倒見てい
るような氣でいる。しかし、もしBが店を追われると、
たちまち彼の家族は総倒れです。義務教育費は生活保護
費にはいっていいといつても、それだけでは片づかない
ケースが多いんです。いけないことも知れないが、私
は、目をつむって帰りました。Bのニコニコした顔を見
ていたら「不覚の涙」が出ましたよ」

病氣を理由に長欠、その間働いていて本当に病氣で倒
れた子もある。夜間中学へ行ける子は「まだましだとさ
え思えることもあって、イカンのですが……」。Aさん
は表情を曇らせた。

×

×

この春、分校から二人の男生徒が、定時制高校へ進学
する。その一人C君は牛乳配達をしながら通っていた。
朝は明け方の五時から十時まで、午後は正午から四時半
まで一日に二回配ってまわる。その間の二時間は店の手
伝い。息づくひまもなく五時半始業の学校へ」。

もう一人D君は十九歳。尼崎の明倫中へ通っていたが
途中で両親を亡くし、姉と共に魚屋のおじさんの家へ身
を寄せた。そのため学業は中断したが、「どうしても勉
強せなアカン」と西野分校へ編入。ギリギリまで店を手
伝い、ついに尼崎から通いとおした。

夜間中学は、非行児童を生みやすい、という意見もあ
る。たしかに、長田署の少年課で補導されるうちに、西
野分校の生徒もいる。一人であっても在籍数三十二人な
ら〇・三三%だ。目立ちはあるが、実際は少ない。

ひとところ、他校区から編入する子の身上調査にウソが
多い、非行児の押しつけだーと先生たちを嘆かせたこと
があった。しかし、結局そのこどもたちは分校でも長欠
の部類に属しやすい。夜間中学が、彼らのためにあるも
のなら、彼らにとつたのしい環境とムードが必要なの
だ。それを作り出す努力が、批判ばかりする人たちの中
でなされたかどうか。

援助ーと一口にいっても、善意だけでは及ばない。

たとえば、少年少女のよい友だちになろう、というB B
Sの若い人たちが相談相手になろうとしても、年令が近
いだけに反発を招くおそれがある。底辺の児童を理解す
るための研究会も、行動できる団体との協力がなければ
り単なる研究にとどまりやすい。善意が善意として生き
るためには、児童福祉の視点から「行政への住民参加」
がなされないとダメだろう。

神戸市は三十七年、夜間中学の窓口として生徒福祉課
を設けた。個人、集団を問わず、人それぞれの立ち場で
活用しないと、もったいない。

法的にもママ子だし、あるべきでないから廃止せよと
いう意見もある。義務教育修了の資格だけが必要なら通
信教育でとれるようにすればいい、というのもその根拠
の一つ。しかし、市教委は「現実には必要なのだ」と、
充実の方向へ積極的である。昨年、先生も二人増員して
六人になった。教材や備品も豊富になった。

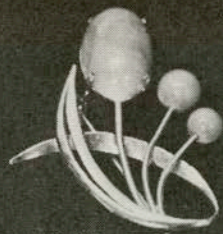
「正論でいえば夜間中学へ行かなくても、みんなが昼
間に学べるのが当然だし、またそうなることを望んでい
ます。しかし、たとえ義務教育が無償になつても、働か
なければならぬ生徒は、現実に残るでしょう。それは
教育のワク内だけで解決できる問題じゃない。それと、
だれの胸にも「まなびや」の懐かしい記憶がある。それ
が苦しいときの支えにもなっています。その集団生活で
のふれ合いが通信教育や検定試験にすりかわつたら、子
供たちからさらに夢をとり上げることになる。だから、
まず当面は充実に努力します」

関係者の弁を総合すればこうなる。C君やD君の、あ
きらめを拒否したさわやかさ、歌い笑うE子やF子のた
くましさ。この学校がそれらを支える役目を受け持つな
ら、地域ぐるみで「充実」の中身を検討していかなばな
るまい。「太陽のない教室」に、強烈な熱気を吹きこむ
ために！

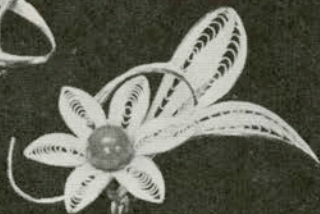
×

×

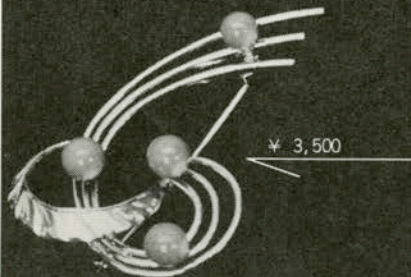
三月生れは気まぐれ
やわらかい春風のように
三月の誕生石は珊瑚
あなたに雅びをそえようと
数々の珊瑚の
アクセサリーを
三月生れのあなたに
お届けします



¥ 3,100



¥ 2,500



¥ 3,500

homiyama さんごとカメオ専門店

ノミヤマ

神戸国際会館アーケード TEL (22) 8161 (内線) 333

本社工場

神戸市葺合区上筒井通 ●/20 TEL (22) 2070

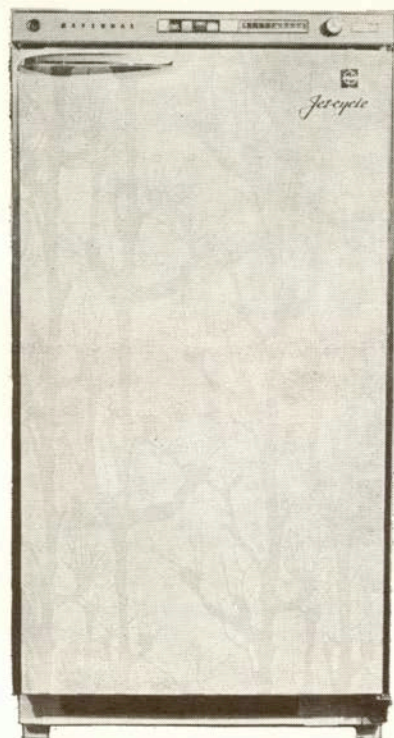


世界のめがね
光学品 豊富品揃

服部メガネ店

大丸前 TEL (33) 1123

あなたの台所に、お好みのプリント模様を選べるナショナル スペシャル オーダー冷蔵庫をおそなえ下さい。

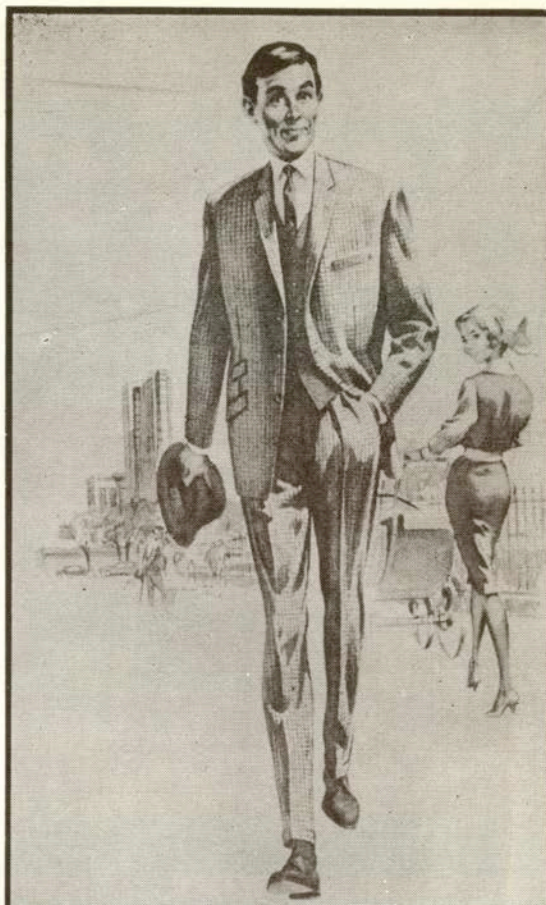


あらゆる電化製品の店

元町電機

元町6丁目(34) 5847・6581

〈スペシャルオーダーについては「神戸っ子」
3月号裏表紙をご参考にご覧下さい。〉



高級紳士服

山名洋服店

神戸三宮生田筋 ㊤5797